

市指定有形文化財（工芸品）
『木製黒漆塗彩絵厨子』

伊賀市三田の三田禅寺に、洗練された格調の高い本格的な絵仏師（仏画制作の専門家）によって制作された厨子があり、保存のよい状態で残っています。

厨子というのは中に仏像や経典を安置する仏具ですが、昨年度指定を受けたこの厨子は高さ28・2cm、幅25cmという小型のもので、中には陶器製の本尊（観音菩薩）が収められています。

厨子はすべて黒漆が塗られ、内側には截金



▲木製黒漆塗彩絵厨子

◀木製黒漆塗彩絵厨子 部分



を用いて、顔料で文様が施されています。截金というのは金箔や銀箔を細い線や三角・四角・眉形などの細片に切って、文様を表す技法です。

正面の観音開きの扉の内側と左右の一枚扉の内側の合わせて4枚の扉に、それぞれ7対ずつ観音に従って仏教とその信者を守る神々である二十八部衆が描かれています。奥壁と左右の側壁には海中に浮かぶ補陀落山（ここに観音菩薩が住むと言われています）を表現し、床面にもこれに連続する海波を描いています。また、左右の側壁の上方には風神・雷神、そして天井には八葉蓮華をかたどった天蓋が描かれ、「観音浄土」の世界が表現されています。

制作時期は作風から14世紀の頃と推定されています。

教育委員会生涯学習課 ☎ 22・9681

7月1日からレジ袋を有料化（9店舗）

経済産業省によると、国民1人当たり年間約300枚のレジ袋を受け取っていると試算して、伊賀市は年間約3,000万枚。このレジ袋を作るのに使われる石油が56kl、排出される二酸化炭素の量が3,060tにも上り、これがごみになると306tにも及びます。

この現状を少しでも改善するため、3月下旬に市民団体・事業者・行政の3者懇談を行い、4月25日に「持ってだぁ〜こマイバッグ（レジ袋有料化）検討会」を発足しました。「持ってだぁ〜こ」は伊賀弁で「持ってください」の意味で、どんなときもマイバッグを持ち歩いてくださいの意味を込めたものです。

レジ袋の有料化について、検討を重ね、6月5日にマイバッグ等の持参推進およびレジ袋有料化に関する協定書の調印式を行い、7月1日から市内9店舗でレジ袋の有料化を始めました。

今後は9店舗のマイバッグ持参率（≒レジ袋辞退率）を検討会で定期的に検証・評価し、皆さんに公表するとともに、ホームセンター・ドラッグストア・家電量販店・コンビニなどにも協力を呼びかけ、徐々に広めていこうと考えています。

なお、レジ袋の有料化にともなう収益金は、リサイクル推進などの環境保全活動や地域貢献活動に使われ、皆さんに公表していきます。



市の花
ササユリ



市の木
アカマツ



市の鳥
キジ

平成20年7月1日 発行／伊賀市 編集／企画振興部広聴広報課
〒518-8501 伊賀市上野丸之内116番地
TEL 22・9696 FAX 22・9697
<http://www.city.iga.lg.jp/>